

【委員会における議論のポイント】

今回の格付け結果は、6名の委員がD評価、2名の委員F評価と、総じて低い評価となった。

委員が共通して低い評価をした点は、以下の諸点である。

- オブザーバーを参加させて独立性に疑義を生じていること
- 招致委員会の関係者には違法行為やIOC規程違反はなかったと強引に結論づけていること
- 本調査報告書をJOCのウェブサイトを開示していないこと

他方で、

○BT社、タン氏、ラミン・ディアク氏、パパ・マッサタ・ディアク氏らに対し、十分な調査ができなかったこと

については、調査が不十分として低い評価をする委員と、任意調査の限界であって低い評価はできないとする委員とに分かれた。

以上